

吉田方小学校の ESD 活動

<活動の概要>

当校は、「地域を知り、親しみ、守る」を活動テーマとして、E S Dを未来へつなぐ学びと捉え、E S Dの実践を通して地域とともに生きる力の育成を目標とした。具体的には、「知る」「親しむ」「守る」を柱に、地域、健康、防災などに関わる学習を行った。

① 地域に関わる活動（2年）

2年生は、生活科「レッツゴー 町たんけん」で、校区探検をきっかけに、吉田方校区にはビニルハウス農家が多いことに気づき、ビニルハウス農家について調べ、友達に紹介した。校区のさまざまな場所や人々と関わる活動を通して、校区の良さや特徴を実感することができた。

調べた場所や人々について、新聞やポスターにまとめ、発表していくことで、自分たちの住む吉田方の町や人々にさらに愛着がもてるようになった。



【ここをおすすめの場所にしようかな】

② 健康・安全に関わる教育（1年）

1年生は、学級活動「正しい歯の磨き方を考えて、アカアカせいじんをたおせ！」では、歯をどうしたらぴかぴかにできるかを考えた。話し合いの中で、「強く」「すばやく」磨くとよいのではないかという結論になった。しかし、それではうまくアカアカせいじんを倒せないことに気づき、養護教諭にピタコチョコ磨きが正しい磨き方だということを教えてもらった。実際にプラークチェッカーを使用して実践をした。自分の歯は自分で守りたいという気持ちが強くなった。



【アカアカせいじんを倒したいな】

③ 食育に関わる教育（3年）

3年生は、理科の学習で枝豆を育てた。そこで、総合的な学習では、タブレットを用いて観察日記をつけたり、育て方やルーツなど個々に関心をもったことについて調べたりして、レポートにまとめた。できた野菜は夏休みに家庭で調理し、家族で味わった。

社会科では、ちくわ工場について学習した。そして、総合的な学習で、ちくわ工場の方を招いて、話を聞いたり、実際にちくわのもとを棒に巻きつけて、炭火で焼いたりして実食した。



【おいしく焼けたかな】

食物を育て、作って、食べるという実践的な活動を行うことで、食への興味関心を高めることができた。

④ 防災に関わる教育（4年）

4年生は、総合的な学習「ぐらっと来たら…そのときどうする？それまでにどうする？」で、防災コミュニティマップなどをもとに、校区が地震で被災した際の状況を調べた。また、校区の被害想定を知り、自分の家の中や周りなど危険なところを調査し始めた。家族と防災会議を行う子たちも多くいた。調査したこと、会議で決まったことなどを、自分の防災コミュニティマップにまとめた。子どもたちの防災意識やもしもの時に行動していこうとする姿勢を養うことができたと考える。



【震度7はすごく揺れるな】